

消化液の利用による作物栽培のお知らせ

メタン発酵により生成される「消化液※」を農家の方々に提供し、様々な作物を栽培しております。

現在、当社は兵庫県養父市の国家戦略特区においてトーヨー養父バイオメタン発電施設の建設を進めており、完成後はこの発電施設より生成される消化液を使用する計画です。

今回、地元農家の方々に協力を得ることができたことは、日本の農業ひいては地元の農業発展に貢献するとともに、トーヨーグループは新規事業の創出および新技術の研究開発などの新しい価値を生み出せることが可能となります。

※消化液

蓄ふんや食品残渣などを混ぜた有機物を発酵させ、メタンガスを取り出して、燃料にした際に生成される副産物

	栽培品種
水稲栽培	コシヒカリ(苗・鉄コーティング)、多収米、WCS(飼料)
野菜栽培	とうもろこし、ホワイトコーン、生姜、とうがらし、黒大豆、小松菜、なす ひまわり、轟大根、そば、大豆
牧草栽培	ソルゴー、青葉ミレット
果樹栽培	ぶどう



ホワイトコーン



ぶどう



ひまわり

トーヨーグループは、国内全域で再生可能エネルギーの他、アグリ事業にも注力し、特区認定事業者として営農とバイオメタンを組み合わせた事業を開始するなど、アグリ事業の新たな形にも取り組んでおります。